

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

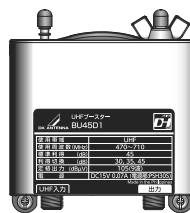


家庭用ブースター

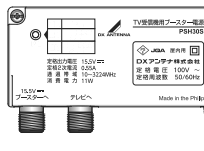
UHF 470~710MHz 増幅用
前置ブースター用給電スイッチ付
DC15V電源重畳方式

BU45D1 UHF35dB/45dB 共用形

増幅部 (屋外/屋内用)



電源部 (屋内用)



本製品はケーブルテレビとFM放送には使用できません。

付属品



防水キャップ……2個



F5接続リング付……4個
(5C相当ケーブル用)

ブースターの効果について (知っておいていただきたいこと)

このような場合に効果があります

- 分配端子が多く、壁面端子レベルが不足する場所
- テレビやデジタルコーダーを増やしたとき
- 弱電界地域での受信

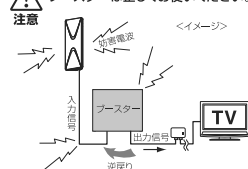
このような場合、ブースターを使用しても効果がありません

- 電波の受信品質が低い
・視聴エリアではない電波格にアンテナを向けている
・ブースターを接続する前の方がよく映っていた
・明夕で映らないチャンネルがある など

受信品質を向上させるため、アンテナを再調整したり、アンテナを変更する必要があります。

工事店にご相談ください

ブースターは正しくお使いください。



ブースターは信号を増幅する機能上、正しく取り付けしないと、自分の家や近所のテレビの映りが悪くなる場合があります。

- 入力端子・出力端子の配線は、取扱説明書に従い確実に実行
- 入力側と出力側のケーブルは、来たり方ブースターに巻きつけない
- 配線には必ず同軸ケーブルを使う
- アンテナマストに取り付ける場合、アンテナとブースターの距離を1m以上離す

ブースターを正しく使用しないと、ブースター内で増幅された出力信号が正常にテレビへ送られず、また出力信号の一部が入力側に逆戻りして、発塵(妨害電波を発生する現象)を起こすことがあります。一台のブースターが発塵を起こすと、ご近所の数十台、数百台のテレビの映りが悪くなる場合があります。

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

一般的な注意事項	機器の分解禁止	水ぬれ禁止	接触禁止	一般的な注意事項	抜取り指示	指示を守る
----------	---------	-------	------	----------	-------	-------

警告 誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど重大な結果に結びつく可能性があるもの

異常があるときは、すぐに使用をやめる
煙が出ている、変なにおいがあるなどの異常状態のまま使用しない
火災や感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店・カスタマーセンターにご相談ください。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない
火災や感電の原因となります。

同軸ケーブルには電流が流れることがありますので、電流を流す場合、途中には通電機器以外に絶対に挿入しない
通電機器を挿入する場合は通電端子をよく確かめてお使いください。もし、非通電機器を挿入すると、回路やケーブルがショートして、火災や感電の原因となります。

電源プラグは、コンセントの根元までしっかりと差し込む
コミやほこりが付着しているときは拭き取ってください。火災の原因となります。

電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。

電源プラグの抜きやすい場所に設置する
異常があった場合などに、すぐに電源プラグをコンセントから抜ける場所に設置してください。

ぬれた手で電源プラグを触らない
感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、製品には触れない
感電の原因となります。

同軸ケーブルを傷つたりしない
本製品に接続する同軸ケーブルには電流が流れることがあります。接続や接点の加工などで心線と編組を接触させたり、同軸ケーブルを傷ついたりしないようにしてください。火災や感電の原因となります。

電源コードや同軸ケーブルを接続した状態で移動しない
接続した状態で移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

ケースが破損した場合は、電源プラグや同軸ケーブルを抜く
本製品から電源プラグや同軸ケーブルを抜いて、販売店・カスタマーセンターにご相談ください。そのまます使用すると、火災や感電の原因となります。

製品にテープ・クロスやカーテンなどの燃えやすいものを掛けたり、じゅうたんや布団のうしろに置かない
熱がこもり、火災の原因となります。

製品を分解・改造しない
感電やけがの原因となります。また、製品の性能が維持できなくなり、故障の原因となります。

製品内部に水が入ったり、ぬれたらしないようにカバーを正しく閉め、また、接続する同軸ケーブルには防水キャップを正しく取り付ける
万一、内部に水などが入った場合は、まず本製品の電源プラグをコンセントから抜いて、販売店・カスタマーセンターにご相談ください。そのまます使用すると、火災や感電の原因となります。

製品内部に水などが入った場合や、落としたり破損した場合は、すぐに接続している電源プラグを抜く
万一、落としたり、内部に水などが入った場合は、まず本製品に接続している電源プラグをコンセントから抜いて、販売店・カスタマーセンターにご相談ください。そのまます使用すると、火災や感電の原因となります。

ブースター電源部を以下の場所に設置しない
変形や火災、感電など事故の原因となり、製品寿命が短くなる場合があります。
・直射日光の当たる場所
・放熱機能のないボックス内
・屋外・風雨・湿気・洗いや水がかかる場所
・湿気やほこりの多い場所
・調理台や加湿器のそばなど高温になる場所
・油煙や湯気があがる場所

ブースター増幅部を以下の場所に設置しない
落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。
・強度の弱い場所
・不安定な場所
・くづいたり振動したりする場所
・傾いた場所

電源コードを傷ついたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
また、重いものをのせたり、加熱(熱器具に近づけるなど)したりしない
火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだとき(心線の露出、断線など)はお買い上げの販売店・工事店にご相談ください。

製品内部に異物などを差し込まない
製品の内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだりしないようにしてください。火災や感電の原因となります。

取り付けネジや接続の締め付け力(トルク)に指定がある場合は、その力(トルク)で締め付け、固定する
落ちたり、破損したりして、けがや故障の原因となります。

製品内部に異物などを差し込まない
製品の内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだりしないようにしてください。火災や感電の原因となります。

AMラジオから1.5m以上離して使用する
AMラジオの近くで使用するとうラジオ音声/ノイズが入る場合があります。

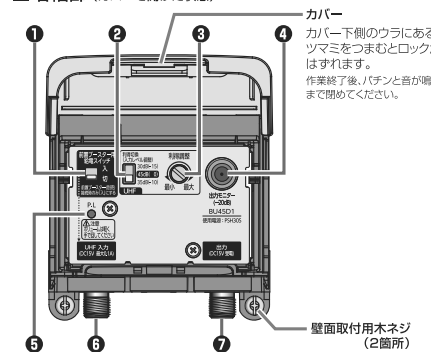
お取り扱いの前に ※設置作業は、この取扱説明書をよくお読みの上で行ってください。

- ブースターを落としたり、ぶつけたりしないよう注意してください。
- 入出力端子へのF形接続の接続は、接続ナットを2N・mで締め付けてください(締め付けの過不足は故障や障害の原因となります)。
- 電源部(PSH430S)は、この製品の増幅部以外には使用しないでください。

1 各部の名称と機能

※下部スイッチ位置は出荷時の設定です。出荷時のボリューム位置は最大値です。
※各スイッチおよびボリュームは手で軽く回してください。強く回すとボリュームが破損する恐れがあります。

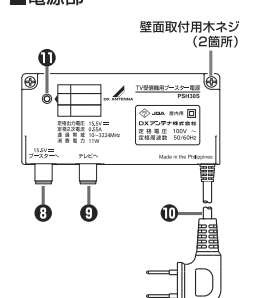
■増幅部 (カバーを開けた状態)



- 1 前置ブースター用給電スイッチ**
増幅部とUHFアンテナ間にUHF前置ブースター(別売)を接続する場合に「入」にします。(電源供給が同軸重畳方式の前置ブースターの場合)
※ 出荷時: 切
※ 詳細はウラ面「接続例」をご覧ください。
- 2 利得切換(入力レベル調整)スイッチ**
アンテナからの信号を増幅する際のレベルを選択します。
※ 出荷時: UHF …………… 35dB(±10)
- 3 利得調整ボリューム**
UHF帯域では15dBを連続で調整できます。
※ 出荷時: 利得最大
※ ボリュームは必ず手で回してください。(工具を使うと破損します。)
- 4 出力モニター端子(〜20dB)**
レベルチェッカー(別売)などを用いて調整をする場合に使用します。
- 5 P.L.(パイロットランプ)**
電源を供給すると点灯します。
- 6 UHF入力端子**
UHFアンテナに接続します。
●を「入」にするとUHF前置ブースター(別売)に電源を供給できます。
- 7 出力端子**
●と接続します。
増幅された信号が出力されます。同時に電源部から電源が供給されます。

- UHF前置ブースター(別売)を接続しない場合は必ず●を「切」にしてください。「入」で使用すると、本製品が動作せず、故障の原因となります。
- ●の入力端子に別売のアンテナターミナル(減衰器)を接続する場合は、必ず通電仕様のものを使用してください。
- スイッチを切り換える際は切替操作を数回行い、スイッチ接点部の活性化(クリーニング)をしてください。長期間操作をしないと接点部に酸化膜が発生し、接続不良の原因となります。

■電源部



- 8 ブースターへ**
●と接続します。増幅された信号が入力されます。同時に増幅部へ電源を供給します。
- 9 テレビへ**
テレビと接続します。増幅された信号をテレビ側へ出力します。
- 10 電源コード**
電源プラグをAC100Vコンセント(50/60Hz)に差し込むことにより、電源供給を行います。
※ パイロットランプが点灯しない、異常に熱くなる等の異常がない限り電源コードは抜かないでください。テレビ放送が見られなくなります。
- 11 P.L.(パイロットランプ)**
電源プラグをAC100Vコンセント(50/60Hz)に差し込みと点滅し、同軸ケーブルを増幅部に接続すると、点灯します。同軸ケーブルがショートや断線している、下記のように光でお知らせします。

【お知らせ】	【状態】
点灯	正常
点滅	断線または未接続
消灯	ショートまたは断線

※ 点滅・消灯のときはウラ面「10」を点検してください。

2 取り付ける

垂直マストに取り付ける	増幅部	電源部	壁面取付用木ネジ (2箇所)
-------------	-----	-----	----------------

- 1 コの字形金具をはずす**
金具がはずれにくい場合は緩ナットを少し緩めてください。
- 2 コの字形金具を90°起こす**
- 3 マスト挿入金具の一方(右側)をはずす**
- 4 本体とマスト挿入金具でマストをはさむ**
本体は入出力端子が下向きになるように取り付けください。(上から見た場合)
取付マスト径の目安
φ22mm ~ φ29mm ~ φ30mm
φ29mm ~ φ34mm ~ φ40mm
φ34mm ~ φ42mm ~ φ49mm
φ42mm ~ φ49mm
- 5 マスト挿入金具をしっかりと引っかけ、緩ナットをしっかりと締め付ける**
マスト挿入金具を矢印の方向にスライドして、奥までしっかりと引っ掛けてください。
●隙間があると振動や事故の原因となります。
その後、緩ナットをしっかりと締め付けてください。
[締付トルク: 1~1.5N・m]

水平マストに取り付ける
コの字形金具を付け替えると、水平マストにも取り付けできます。付け替え手順は下記をご覧ください。

- 1 コの字形金具をはずす**
一片だけはずす
- 2 差し込む**
ココを支点に
- 3 回転させて起こす**
- 4 固定する**
(1) スライドしてココにめ込む
(2) スライドしてココにめ込む
完成図
上記「垂直マストに取り付ける」10、11を参考に、壁面に取り付けてください。

- ステンレスバンドで取り付ける**
(φ49mmを超える断面マストに取り付ける場合)
市販のステンレスバンド(10mm幅)を本体裏面の側面に通して取り付けてください。
● コの字形金具は黄色いキャップと緩ナットをはずして本体から取りはずしてください。
- 板壁へ取り付け**
本体下部を木ネジ2本で壁面にしっかりと固定してください。
- 電源部 板壁へ取り付け**
電源部にセットされているネジ2本で、図のようにしっかりと壁面(板壁)等に固定してください。
● 電源部は電気のあたらない室内に設置してください。
● 電源部を屋外に設置する場合は、防水・防雨・防湿に耐えられるように設置してください。

注意 誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害の発生に結びつく可能性があるもの

テレビ受信工事は技術経験が必要で
アンテナ関連の設置や配線、接続、調整、移設、撤去については、販売店・工事店にご相談ください。

AMラジオから1.5m以上離して使用する
AMラジオの近くで使用するとうラジオ音声/ノイズが入る場合があります。

